

BPMSベンダー／ユーザの為のBPM教育コース



No.	カリキュラム名	内容と修業要件	1セッション2H、①～⑮計15セッション (実施予定日・予定時間)				
1	BPM Quick Winの理解	BPM Quick Winのコンセプトを正しく理解し、今回の講義を即時成果に繋ぐべく目標設定する。	① ()	/	/	/	/
2	実践するために、最低限必要な業務スキルの習得	必要な基礎知識の習得とノウハウの伝授	② ()	③ ()	/	/	/
3	基本モデリング(目標図、俯瞰図、業務フローの描き方)習得	ARISメソッドに準拠した必修モデリング手順とノウハウ習得BPMツール利用。	④ ()	⑤ ()	⑥ ()	/	/
4	ケーススタディによる、BPMS設計前に必要なBPMの理解	実例業務を基にした実践対応手順、ノウハウ習得	⑦ ()	⑧ ()	⑨ ()	⑩ ()	/
5	BPMSでの実装	4のケーススタディ結果の実装。BPM無しと、ありのケースをBPMSで実現した違いの体感。	⑪ ()	⑫ ()	⑬ ()	⑭ ()	⑮ ()